

TOUKADAI Music Festival Pre Concert

令和元年度 小牧市市民活動助成金交付事業

入場
無料

先着順

桃花台 音楽まつり プレコンサート

「華麗なるストリング・クァルテット」
～珠玉の作品を集めて～

2019/11/3(日) 開場/13:15
開演/14:00

会場/東部市民センター講堂

演奏: 中部フィルハーモニー交響楽団 弦楽四重奏

<プログラム>

ヴィヴァルディ: 四季より

モーツァルト:

アイネ・クライネ・ナハトムジーク

モンティ: チャルダッシュ

バッハ: G線上のアリア

日本の唱歌メドレー

他



主催: 桃花台を考える会 共催: 一般財団法人こまき市民文化財団

後援: 小牧市、小牧市教育委員会、小牧市文化協会、一般財団法人桃花台センター

桃花台区長会、中日新聞社

協賛: あおい交通(株)、旭産業(株)、新井内科クリニック、(株)名菱運輸

【演奏者の紹介】

古井麻美子（ヴァイオリン）

名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。チェコ国立ブラハ芸術アカデミー研究科修了。第46回全日本学生音楽コンクール名古屋大会高校の部第1位。ソロ、室内楽など幅広い演奏活動を行っている。現在、名古屋音楽大学および同朋高等学校音楽科非常勤講師、中部フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター。

綾川智子（ヴァイオリン）

4歳よりヴァイオリンを始める。第39回全日本学生音楽コンクール東海大会第1位。桐朋女子高等学校音楽科卒業。桐朋学園大学音楽学部在学中に渡仏。パリ国立高等音楽院修了。現在、桐朋学園大学附属音楽教室非常勤講師、中部フィルハーモニー交響楽団アシスタントコンサートマスター。

石川園恵（ヴィオラ）

愛知県立芸術大学音楽学部器楽科卒業。同大学院音楽研究科修了。第2回日本室内楽アカデミー主催、若い演奏家の為のコンペティション室内楽部門第2位。ヴィオラを兎束俊之、川崎和憲、杉山光太郎、信州ヴィオラセミナーにてゲオルグ・ハーマンの各氏に師事。現在、中部フィルハーモニー交響楽ヴィオラトップ奏者。

河井裕二（チェロ）

同朋高等学校音楽科を経て名古屋音楽大学に特待生として入学。在学中には定期演奏会やオーケストラとソリスト達の夕べにて協奏曲を演奏するなど様々な演奏会に出演。卒業後は、オーケストラのチェロ奏者として演奏をする他、室内楽、ソロ演奏などでコンサートやイベントに出演するなど、幅広く演奏活動を行っている。これまでに、故久保田顕、林良一、吉田顕、林俊昭の各氏に師事。

現在、中部フィルハーモニー交響楽団チェロトップ奏者、名古屋音楽大学非常勤講師。

桃花台音楽まつりの趣旨について

「桃花台を考える会」は2015年から活動を開始しました。

私たちが住むまち・桃花台がさらに住み良いまちになるよう、ここに住む子ども達にも、誇りに思ってもらえるようまちの魅力をつくり、新しい住民が住みたいと思うまちをめざして、身近な課題から取組み、毎年度末には住民報告会を開催してきました。

2018年、2019年の報告会・講演会でも、「成熟したまちには文化が必要」「文化はまちの誇りである」とまちづくりにおける文化の重要性を学びました。

私たちは、多岐にわたる「文化」というジャンルの中から、多くの人に支持され共感を持ってもらえる文化として「音楽」を選び、「音楽のまち桃花台」を目指し、音楽を通じた文化溢れるまちづくりを目標とし「桃花台音楽まつり」を創設しました。

音楽には「潤いや豊かさ」「楽しい時間の共有や新鮮な感動」があり、「言葉や民族を超えてひとつになれる」良さがあります。

住民による手づくりコンサートを、地域の住民みんなで楽しみましょう。最初は年1回からスタートしますが、地域の音楽団体や演奏家の協力を得ながら、アピタの催事場や「たまり場」などへの出前演奏も随時計画してゆきます。

この「桃花台音楽まつり」を住民の皆さんと一緒に育て上げて、まちの誇りとして「音楽のまち桃花台」を実現できたらと願っています。

桃花台を考える会代表 鵜飼 順

※東部市民センターにおける演奏会の予定

- ・2020/2/1 前田陽一朗（桃花台文化大使・プロピアニスト）ピアノリサイタル
- ・2020/3/15 まちづくり講演会とピーチエコーなど市内合唱団の演奏会
- ・2020/11月 桃花台音楽まつり応援ピアノコンサート（桃花台文化大使・前田陽一朗）
- ・2021/3月 第1回桃花台音楽まつり（桃花台内3中学ブラスバンドの共演）